

平成17年11月17日

報道機関各位

東北大学多元物質科学研究所

**- 多元物質科学研究所創立5周年記念行事 - についてのお知らせ**

- ・ 第5回東北大学多元物質科学研究所研究発表会
- ・ 第3回財団法人素材工学研究会素材工学研究奨励賞授賞式
- ・ 第37回財団法人科学計測振興会 科学計測振興会授賞式

**概要**

第5回東北大学多元物質科学研究所研究発表会の開催

12月1日(木)午後1時から、仙台国際ホテルにおいて第5回東北大学多元物質科学研究所研究発表会、第3回財団法人素材工学研究会素材工学研究奨励賞並びに第37回財団法人科学計測振興会科学計測振興会賞の授賞式が行われます。

(1) 第5回東北大学多元物質科学研究所研究発表会について

研究発表会は、平成13年4月に素材工学研究所、科学計測研究所及び反応化学研究所の3研究所が統合・再編され、多元物質科学研究所が新たに発足したのを機に始まり、5年目を迎える今年、多元物質科学研究所創立5周年行事として開催することになりました。

第1部は、先駆的な物質科学の研究、又は先導的立場で活躍されている研究者の講演が予定されており、講演者並びに講演の内容は、次のとおりです。

午後1時から

特別講演「分子を動かす、集める、転写する」

新海 征治 先生 (九州大学大学院 工学研究院 応用化学部門教授)

特別講演「研究にはセンスと雰囲気、それにプラスαが重要

- 酸化チタン光触媒とダイヤモンド電極を例にして」

藤嶋 昭 先生 (財団法人神奈川科学技術アカデミー理事長 東京大学名誉教授)

特別講演「ナノカーボン材料の科学と応用」

飯島 澄男 先生 (名城大学理工学部教授 産総研・新炭素系材料開発研究センター長)

第2部は、県内外において第一線で活躍されている多元物質科学研究所の研究者の研究成果をポスターにより発表いたします。

ポスター発表数は、105件が予定されており、今後の国内外の物質科学に関する研究及び産業界における発展に寄与するものと期待されております。

( 2 ) 第 3 回素材工学研究奨励賞授賞式について

本賞は、財団法人「素材工学研究会」が、公的機関（主として大学あるいは工業高等専門学校）において素材工学に関連する研究分野で優れた研究成果を挙げ、将来の発展が期待できる 40 歳未満の若手研究者に授与するもので、賞状及び奨励金が授与されます。

本年度の受賞者と研究業績は次のとおりです。

佐藤 友章氏（宮城工業高等専門学校助教授）

「金属アルコキシド重合による粒子生成機構と粒子分散系エレクトロロオロジー効果に関する研究」

吉川 彰氏（東北大学多元物質科学研究所助教授）

「 $Pr^{3+}$  の 5d - 4f 遷移に伴う短寿命発光を用いた新規シンチレータ材料の開発」

( 3 ) 第 37 回科学計測振興会賞の授与式について

本賞は、主に東北地方の国公立大学及び研究所等の 50 歳以下の研究者を対象に、科学計測に関して優秀な学術上の成果をあげた研究者に対して贈られているもので、賞状と賞金が授与されます。

本年度の受賞者と研究業績は次のとおりです。

虻川 匡司氏（東北大学多元物質科学研究所助教授）

「相関熱散漫散乱電子回折表面構造解析の開発」

**入場無料、関心のある市民県民の方の参加も対象としております。**

( 問い合わせ先 )

東北大学多元物質科学研究所 村松 淳司 教授

022 - 217 - 5198

メ-ル [http://www.tagen.tohoku.ac.jp/  
network@tagen.tohoku.ac.jp](http://www.tagen.tohoku.ac.jp/network@tagen.tohoku.ac.jp)